



曾我部秀司 議員

総合戦略（令和2年度～令和6年度の5か年） 人口ビジョンの視座と方向性を基に、実現に向けて、具体的な施策と取組を策定しました。

<p>基本目標1 子育て世代に、 住む場所として 選ばれる松前町づくり</p>  <p><small>子どもの学びが専攻され、将来子どもを持つ世代が安心して子どもを生み育てられるよう、切れ目のない支援を行い、将来にわたって安定した人口を維持していきます。</small></p> <p>【成果目標】 出生数 192人 (H30) → 215人 (R6)</p>	<p>基本目標2 産業振興、産業連携による 活発で活力ある 松前町づくり</p>  <p><small>農・水・商・工など、それぞれの分野における雇用機会の確保や創出を図るとともに、各分野の垣根を越えた連携を図ることにより、活発で活力あるまちを実現します。</small></p> <p>【成果目標】 従業者数 13,842人 (H28) → 14,534人 (R6)</p>	<p>基本目標3 安全・安心で 賑わいあふれる 元気な松前町づくり</p>  <p><small>住民が安心して暮らすことができ、将来にわたって賑やかで元気なまちをつくりきます。</small></p> <p>【成果目標】 人口の社会増減数 369人 → 200人 (H27-30) (R2-6) (4年間)</p>
--	--	--

総合戦略 第2期 松前町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

総合戦略の成果目標「出生率」は

問 ①成果目標を設定する場合、過去（特に大きな変化があった場合）の分析が大切である。平成26年度の出生数は前年度から約40人減少しているが、その原因を当時分析していたか。

②令和6年度の出生数を約20人の増加と目標設定しているが、具体的な施策は。

答 仙波総務課長
①平成26年度の約40人減少した原因分析は行っていない。

③改定前の総合戦略の重要業績評価指標には「保育士の充足率」があった。改訂版にはそれがなくなっているが、目標は達成したのか。

②出生数の目標達成に向けて、出会いの場の創出、医療費の無料化、子どもの遊び場づくりなど、30の事業を実施している。

③常勤の保育士数の割合を充足率として算定していた。計画の見直しの結果、この指標は子どもの年齢や人数な

待機児童問題解消は

問 ①昨年9月に待機児童問題について質問した。その原因は、施設・保育士不足ということだが、1年経ってもかわっていない。町として何に取り組んだのか。

他市町では、自治体独自の保育士確保の施策を行っている。本町も積極的な保育士確保に努めることは考えているのか。

②総合戦略の出生数に関する重要業績評価指標に保育所入所者数があり、令和6年度は、平成30年度より90人増としているが、対応で

答 塩梅保健福祉部長
きょうよう対策を考えているのか。

①保育施設不足解消については、令和6年度までに必要な保育施設を計画的に整備することとしている。

保育士不足解消については、以前から取り組んでいる保育士資格をもつ潜在的保育士に対する個別勧誘と、県が主催する保育関係交流セミナーへのブース出展を行っている。ブースでは、町立保育所の概要や業務内容を説明

し、職員採用試験の応募を呼び掛けている。セミナー参加者の中には、現に松前町の職員になった保育士もいる。

更に、町内保育所において、中学校の職場体験、伊予高生の保育ボランティア活動を積極的に受け入れている。ただ、これらの取組を行ったにもかかわらず、保育士不足による待機児童が皆減されていないことが課題となっており、今後も各種の保育士募集の取組を継続していくとともに、働き方改革による魅力

どにより、複数年度を通じて同一条件で算定できない。また、常勤職員の不足分はパートタイムの会計年度職員雇用で、人数的には充足しているなど、目標設定としては適当ではないと判断して廃止した。

なお、廃止した指標の平成30年度の値は75%であった。

ある職場づくりにも努めている。

②公募による民間事業者の小規模保育業所の参入の促進、公立保育所の建替え及び公立幼稚園の認定こども園への移行、私立保育所の移転建替えによる保育定員の拡大を図っていく。施設が確保されるまでは、職員配置等の基準の範囲内で定員以上の子どもを受け入れる定員弾力化の実施により対応できる考えである。